

【船場菖蒲について】

◆ 船場菖蒲とは

「船場菖蒲(せんばしょうぶ)」は、難波神社様(以降、難波神社)が毎年開催される氷室祭の行事の一つ「和太鼓フェスティバル」において、難波神社からの正式な依頼により倭太鼓飛龍が制作・演出を行う特別和太鼓グループです。
一般の出演者とは異なり、難波神社側からの依頼を受けて演奏を行うため、お祭りの意義や伝統に対する深い理解が求められます。

◆ 参加にあたっての心構え

氷室祭の意味を理解し、参拝される一般の方々に敬意を持って接すること。

品格ある行動・言動・演奏を心がけること。

船場菖蒲の稽古は、一般の和太鼓教室とは異なりグループの品質を高める場であることを理解すること。

◆ 衣裳に関する取り組み

初参加の方には、衣裳の着方・畳み方を一から指導します。

自分で着付け・畳みができるようにしてください。

毎稽古時スタジオ前に衣裳を準備します。御自由に稽古してください。

着用時、畳み方は毎回講師が確認します。

6月に「衣裳の着方・畳み方」の試験を実施します。それまでにご自身で着用、畳みができるようにしておいてください。

また、7月の時点で、以下4項目の基準を満たせない場合、次年度以降の出演はできません。

① 着付け ② 畳み方 ③ 太鼓技術 ④ マナー

出番以外で衣裳を着て人前に出ることは禁止です。今後もこのルールは厳守とします。

ルールを守れない方は、今後の参加をお断りさせていただきます。

◆ 初回稽古について

初回稽古日に、難波神社へのご挨拶とリーダーの決定を行います。

可能な限りご参加ください。

リーダーは、ジュニアも含めた船場菖蒲全体の統括を担当し、ご挨拶時にお持ちする奉獻酒の準備もお願いします。

◆ 稽古と体調管理

真夏の炎天下での開催となります。

稽古期間中から体調管理に留意し、自己責任のもと安全に参加をお願いします。

今年も心を一つにして、
「暑く、厚く、熱い」船場菖蒲の夏を共に
作り上げてまいりましょう。